



由 建
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

由仁町長 竹 田 光 雄



道路整備の中期的な計画の作成に係る意見について（回答）

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼がありました標記について、別添のとおり提出します。

（建設水道課土木・建築担当）

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

○ 地震、豪雨、豪雪等の災害に対応する道路整備

近年、自然災害や異常気象により道路寸断、橋の倒壊等の被害が起き、地域住民が孤立状態等になり不安を抱える状況も発生していることから、地域住民が安心、安全に暮らせ、災害及び緊急時に敏速な避難が図るよう、災害を重視した道路整備及び防災対策など災害に強い道路整備が重要と考える。

○ 道路環境及び地方の経済活性化

今後とも住民の生活や地方の経済活動を支える道路政策を推進するとともに、子どもや高齢者に安全で利用しやすい道路環境を整備する。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すること

○ 既存道路、橋梁等の耐久化

更新時期を迎える道路、橋梁等は、適時に効率的な改修、改良を施し、耐久性を図ること。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

○ 寒冷地特有の気候条件における維持管理に係る財源支援

寒冷地帯の冬期間での凍上は、異常気温ばかりでなく降雪量によっても予想外の形で大小にかかわらず被害が毎年起き、交通安全上にも支障を来す現状である。

被害の程度が定められた基準値以上であれば融雪害災害復旧事業等に対処も可能だが、それ以外であれば道路管理者の負担が余儀なく発生することから、これらの維持管理に係る費用に対する一層の財源支援も重要と考える。

また、寒冷地における冬期間の交通障害（地吹雪、除雪など）の緩和による交通サービスの確保も必要である。

平成19年5月2日

由仁町長 竹田 光 雄

